

# Press release

---

Stuttgart (Germany)/Tokyo (Japan), July 9, 2026

## MAHLE、ドイツ半導体大手 Infineon 向けデータセンター用高性能電子冷却ユニットを開発

- Infineon と MAHLE は、高性能モジュールの過熱防止技術に関する先行開発プロジェクトで双方の専門技術を結集
- 冷却ユニットはデータセンターの電源制御システムなど幅広い用途に対応
- MAHLE 製冷却ユニットにより Infineon モジュールの性能が従来品比で大幅に向上
- MAHLE は自動車分野で培った技術を他市場へ展開し、非自動車領域での成長を加速

大電流が流れる電子システムでは、過熱が大きな課題となります。電子部品の効率と性能を維持するためには、効果的な冷却技術が不可欠です。半導体ソリューションを提供する Infineon と、熱マネジメントのスペシャリストである MAHLE（マーレ）は、この課題に対応するため、それぞれの専門技術を結集しました。Infineon の新しい高性能パワーモジュール「EasyPACK™ S」の開発に向け、MAHLE は Infineon の要求仕様に合わせてカスタマイズした冷却ユニットを提供しています。スイッチギアや各種機能の制御を担う「EasyPACK™ S」モジュールは、データセンターの電源システム制御などに使用されます。MAHLE の革新的な冷却技術により、Infineon のモジュールは従来モデルと比べて性能が大幅に向上し、さらに機能的耐久性と寿命も強化されています。「MAHLE は、自動車業界で培ってきた技術とノウハウを他分野へ応用しており、Infineon との協業はその成功例の一つと言えるでしょう」と、MAHLE インダストリアル&スペシャルソリューションズ事業バイスプレジデントの Christian Kuechlin は述べています。MAHLE は自動車分野で蓄積した知見を活用し、自動車以外の事業分野でも力強い成長を推進しています。

Infineon の新しいパワーモジュールは、小型ながら高い電力密度を実現しています。MAHLE が開発した冷却ユニットは、板チョコレートを二枚重ねた程度のコ

コンパクトサイズで、回路基板上に直接取り付けすることで、モジュールから発生する熱を冷却液によって効率的に放散します。

今回の開発プロジェクトは驚異的なスピードで進展しており、最初の試作品はわずか4か月で納品されました。現在、試作品は Infineon にて評価・検証作業が進められています。こうした迅速な進展は、両社の強固なパートナーシップを示すものであり、今後の共同イノベーションに向けた確かな基盤となっています。

MAHLE はグループ営業部門内に「インダストリアル&スペシャルソリューションズ」事業部を新設し、自動車以外の事業活動を同事業部へ集約しました。これにより、新規顧客へのアプローチがより効果的になります。さらに、お客さま視点を重視した技術営業とアプリケーション開発の知見を組み合わせることで、顧客ニーズに応じたソリューション開発を大幅に加速します。また、生産、物流、購買、品質などの各機能の連携も強化され、インダストリアル&スペシャルソリューションズ事業向けに生産拠点の能力を効率的に活用できる体制が整います。

報道関係者の皆さまへ：本プレスリリースおよび関連画像は「MAHLE Newsroom」(<https://newsroom.mahle.com/press/en/>) に掲載しています。

画像の著作権：MAHLE GmbH



MAHLE インダストリアル&スペシャルソリューションズ事業部バイスプレジデント Christian Kuechlin



MAHLE 冷却ユニットの最初の試作品は現在、評価・検証作業が進められています。

**Contact persons for MAHLE communications in Japan:**

藤川 祐子

広報部 シニアマネージャー

Phone: 050-3363-0290

E-mail: [yuko.fujikawa@mahle.com](mailto:yuko.fujikawa@mahle.com)

徳永 竜也

広報部

Phone: 050-3363-0290

E-mail: [tatsuya.tokunaga@mahle.com](mailto:tatsuya.tokunaga@mahle.com)

---

**About MAHLE (本社：ドイツ／日本支社：東京都豊島区)**

MAHLE (マーレ) は、今日のグローバルな自動車業界において、乗用車と商用車両分野の開発パートナーおよびサプライヤーです。1920年に設立されたマーレグループは、電動化と熱管理の戦略的分野に焦点を当て、将来の「Climate Neutral」なモビリティの実現に取り組んでいます。また、燃料電池や水素などの再生可能な燃料で稼働するクリーンな燃焼エンジンなど、炭素排出量をさらに高効率に削減するための技術にも焦点を当てています。

現在、世界中の2台に1台がマーレのコンポーネントを搭載しています。マーレは世界中約64,000名の従業員を127の生産拠点や11のテクノロジーセンターに配置し、28か国に拠点を置いています。また、2025年には約113億ユーロの売上を計上しました。

日本においてマーレは、幅広い専門知識を活用しながら今日まで50年以上事業を継続して参りました。またアジア太平洋地域の本社機能を担うことで、日系大手自動車メーカーの国内外すべてのビジネスをサポートしています。現在、日本のマーレグループは国内17拠点に約2,200名の従業員を擁しています。

マーレジャパン公式サイト：<https://www.jp.mahle.com/ja/>  
#weshapefuturemobility